



生活支援コーディネーター はやま一色歩き

R5年3月発行



一色台

葉山一色台団地 西公園

50年前、造成された当初「葉山のマチュピチュ」と言われた一色台団地の歴史をずっと見守ってきた樹齢45年の河津桜。今年は気候の影響がいつもよりたくさんの花をつけたそうです。残念ながら今年は散り始めていますが、来年は見に行ってみては？地面が岩盤のせいか、根が地上に出ています。足元にご用心！

第2町内会

3月4日(土) 一色第2町内会の「ゆうゆうサロン」に伺いました。準備体操で体を温めてから「ボッチャ」と「モルック」を楽しみました。ほとんどの参加者が初めて体験するスポーツでしたが予想をはるかに超える盛り上がりで、参加者はもちろん、役員も楽しい時間を過ごしました。両競技ともに子どもから高齢者まで幅広く楽しめるスポーツなので今以上に知名度が上がると良いですね。勝負の行方に一喜一憂したり、声をあげて応援したり・最後はお弁当を受け取り解散となりました。

ボッチャ

パラリンピックの公式種目



モルック

肉体的な強さを必要とせず、すべての人に適した投擲競技



おひさま保育室

3月4日(土)「おかげさま写真展」に伺いました。芽ぐみ保育室とおひさま保育室の子どもたちの生活を、「保育士フォトグラファー」である鈴木都恵氏が1年を通し追い続けた写真展です。子どもの笑顔と葉山の自然が詰まった写真展でした。





R4年度 第2回一色地区支え合い推進会議

1月19日(木) 葉山町保育園・教育総合センター会議室において「一色地区支え合い推進会議全体会」が開催されました。参加人数は24名。

内容

- ・参加団体の自己紹介と近況報告
- ・支え合い推進会議の活動報告と、今後の予定等



一色地区支え合い推進会議(協議体)

とは

一色の町内会、民生委員、施設関係者、ボランティアなどが、一色地区がより暮らしやすい地域になるよう支え合いの輪を作るための勉強をしたり、話し合いをする場です。



～想いをつなぐ懇談会～ 民生委員との懇談会

2月8日(水)葉山町保育園・教育総合センター研修室・会議室にて「一色地区の民生委員との懇談会」が開催されました。参加者は民生委員、旧民生委員、町内会長、一色地区の情報部会のメンバー、社協です。民生委員の改選時期後でもあるので顔合わせも兼ね、参加者同士や町内会、地域について、より理解を深めることを目的として企画された懇談会です。



生活支援コーディネーターとは高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、生活支援・介護予防の体制づくりを進めるのが仕事です。具体的には地域の特性や高齢者の困りごとを把握しネットワークづくり、ニーズと取り組みのマッチングなどを行います。皆さん、気軽に声をかけてください。

社会福祉法人 葉山町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター(一色担当)

住所:葉山町堀内 2220 電話:046-875-9889

Mail:isshiki@hayamashakyo.com